

## 2 がんの早期発見

### 現状と課題

#### ■がん検診の受診率について

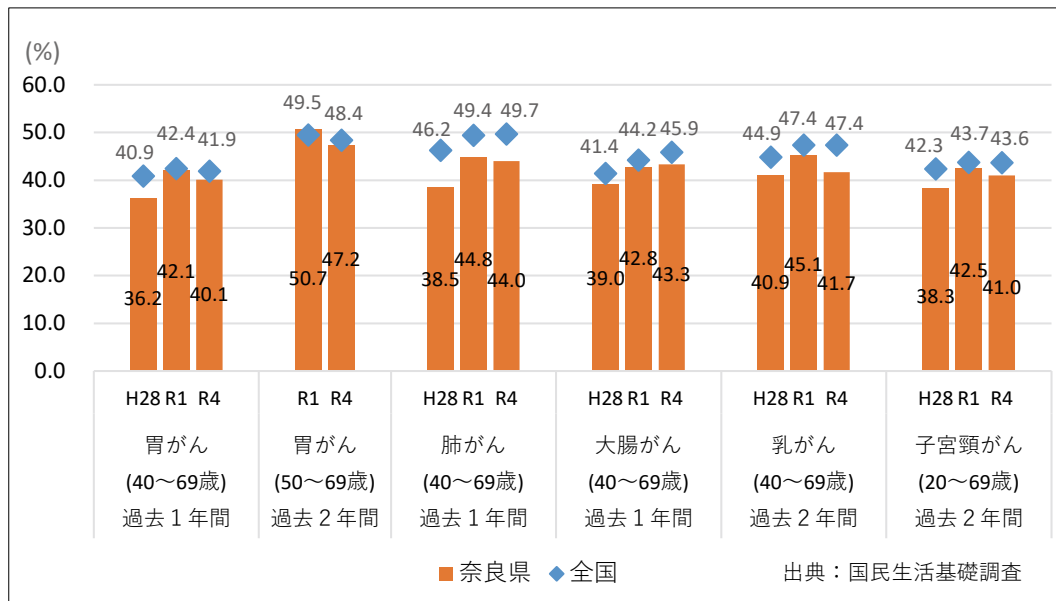
がん死亡者を減少させるためには、検診でがんを早期に発見し、適切な治療につなげることが重要です。現在、市町村で行われている対策型がん検診<sup>\*9</sup>には、「胃がん検診」「肺がん検診」「大腸がん検診」「乳がん検診」「子宮頸がん検診」があります。

令和4（2022）年度のがん検診受診率<sup>\*10</sup>は、胃がん47.2%、肺がん44.0%、大腸がん43.3%、乳がん41.7%、子宮頸がん41.0%となっており、すべてのがん種において全国値を下回っています（図2-1）。

がん検診を受診しない理由として、「病気で医師にかかっているから」「健康なので必要ないと思うから」「時間的な余裕がないから」「面倒だから」という回答の割合が男女ともに高くなっています（図2-2）。

これらのことから、がん検診受診の必要性や正しい知識を県民に分かりやすく情報発信することが必要です。併せて、がん検診を受けやすい体制の整備が必要です。

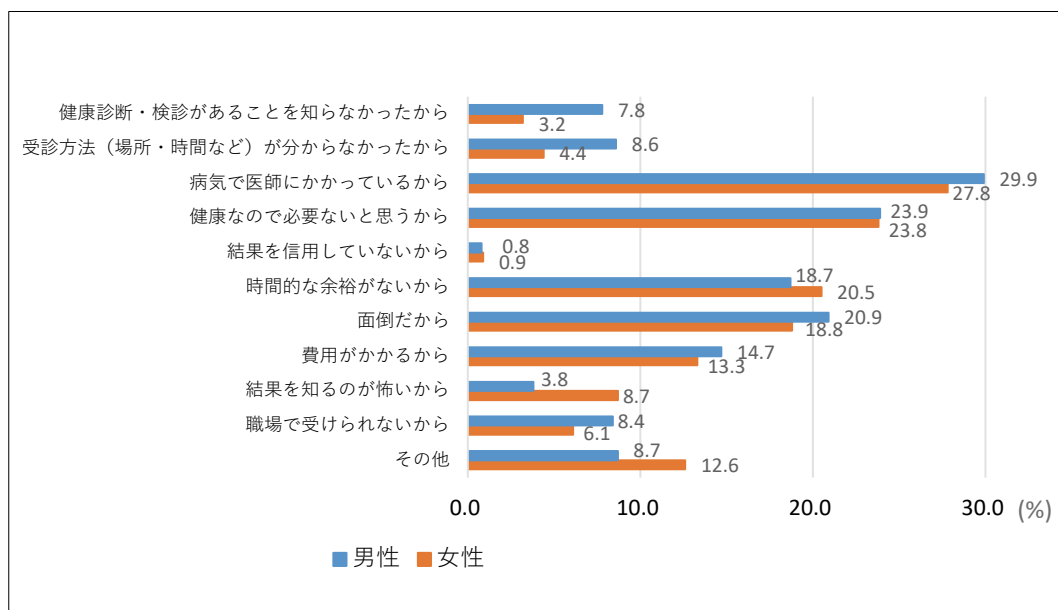
図2-1 がん検診受診率



対策型がん検診<sup>\*9</sup> …当該がんの死亡率を下げることを目的として、公共政策として行うがん検診。

がん検診受診率<sup>\*10</sup> …算定対象年齢は「がん対策推進基本計画」及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき、40～69歳（子宮頸がん検診は20～69歳、2019年以降の胃がん検診（過去2年間）は50～69歳）としている。胃がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診は2年に1回、大腸がん検診・肺がん検診は毎年の受診が推奨されている。

図 2-2 がん検診を受診しない理由（令和4年度）



### ■がん検診の精度管理について

がん死亡率を減少させるためには、がん検診が正しく行われているかを確認すること（精度管理）が必要不可欠です。検診で要精密検査となった場合、全員が精密検査を受診する必要がありますが、令和3（2021）年度の市町村がん検診における精密検査受診率は、胃がんX線 84.9%、肺がん 87.8%、大腸がん 78.4%、乳がん 97.6%、子宮頸がん 87.3%となっており、多くのがん種で十分とは言えない状況です。国が精度管理の指標として作成している「事業評価のためのチェックリスト」項目の実施状況においては、全項目における奈良県のチェックリスト実施率は全国平均を上回っています。しかし、項目別に見ると、表 2-1 の項目については実施率が低く、重点的な取組が必要です。

また、国は「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」を定めており、科学的根拠に基づくがん検診を推奨しています。しかし、半数以上の市町村が指針に基づかないがん検診（前立腺がん検診、胃がんリスク検診等）を実施している状況です。指針で推奨される内容以外のがん検診は不利益が利益を上回るため、実施すべきではないとされています。

表 2-1 事業評価のためのチェックリスト（抜粋）

| 項目  | R4 実施率    |
|---|-----------|
| 対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか                                 | 25.0～34.2 |
| 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか              | 43.8～88.2 |
| 精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行いましたか                             | 46.2～61.8 |
| 検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは実施要綱）の内容が遵守されたことを確認しましたか | 30.8～63.6 |
| 検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか                     | 15.4～35.1 |

出典：市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査

## 分野別目標

現状と課題を踏まえ、がんの早期発見の分野別目標を以下のとおり設定しました。

### 【分野別目標】

| 分野別目標            | 指標              | 現状値<br>(基準値) | 目標値 |
|------------------|-----------------|--------------|-----|
| がんが早期の段階で発見されている | がん検診における早期がんの割合 |              | 増加  |
|                  | ・胃がん            | 54.5         |     |
|                  | ・肺がん            | 0            |     |
|                  | ・大腸がん           | 61.9         |     |
|                  | ・乳がん            | 45.8         |     |
| がんが早期の段階で診断されている | がん登録における早期がんの割合 |              | 増加  |
|                  | ・胃がん            | 64.9         |     |
|                  | ・肺がん            | 35.1         |     |
|                  | ・大腸がん           | 48.6         |     |
|                  | ・乳がん            | 62.0         |     |
|                  | ・子宮頸がん          | 41.3         |     |

## 中間目標と個別施策

分野別目標を達成するために必要となる2つの中間目標を設定し、それぞれの中間目標を達成するために必要な個別施策を設定しました。

### 【中間目標1】

| 中間目標                 | 指標      | 現状値<br>(基準値) | 目標値 |
|----------------------|---------|--------------|-----|
| がん検診を受けやすい体制が整備されている | がん検診受診率 |              | 60  |
|                      | ・胃がん    | 47.2         |     |
|                      | ・肺がん    | 44.0         |     |
|                      | ・大腸がん   | 43.3         |     |
|                      | ・乳がん    | 41.7         |     |
|                      | ・子宮頸がん  | 41.0         |     |

### 【個別施策（がん検診の受診促進）】

#### ① 県民に対するがん検診受診啓発

県、市町村、企業、関係団体等が一体となり、積極的な情報発信に取り組みます。

#### 【主な取組】

- ・ 広報誌やがん情報ポータルサイト「がんネットなら」等を活用した普及啓発
- ・ 奈良県民会議会員による啓発

## ②企業と連携したがん検診受診啓発

顧客及び従業員等にごがん検診の受診勧奨等の取組を積極的に行う企業を「奈良県がん検診応援団」として募り、がん検診の受診促進を図ります。

## 【主な取組】

- ・奈良県がん検診応援団新規会員加入に向けた周知
- ・企業との連携による効果的な受診勧奨ツールの作成及び啓発

## ③がん検診受診勧奨を推進するための人材育成

地域でがんに関する正しい知識の普及やがん検診の受診勧奨を行うための人材を育成します。

## 【主な取組】

- ・市町村におけるがん予防推進員等の養成
- ・企業・団体等と連携した人材育成

## ④受診率向上に向けた市町村支援

効果的な受診勧奨と受診しやすい検診体制の整備ができるよう市町村を支援します。

## 【主な取組】

- ・個別受診勧奨・再勧奨の実施方法の検討・評価
- ・受診率が向上した取組の紹介

## 【中間目標2】

| 中間目標              | 指標       | 現状値<br>(基準値) | 目標値 |
|-------------------|----------|--------------|-----|
| 県民が質の高いがん検診を受けられる | 精密検査受診率  |              | 90  |
|                   | ・胃がん X線  | 84.9         |     |
|                   | ・肺がん     | 87.8         |     |
|                   | ・大腸がん    | 78.4         |     |
|                   | ・乳がん     | 97.6         |     |
|                   | ・子宮頸がん   | 87.3         |     |
|                   | 精密検査未受診率 |              | 5   |
|                   | ・胃がん X線  | 9.5          |     |
|                   | ・肺がん     | 6.5          |     |
| ・大腸がん             | 13.3     |              |     |
| ・乳がん              | 0.9      |              |     |
| ・子宮頸がん            | 10.4     |              |     |
| 精密検査未把握率          |          | 5            |     |
| ・胃がん X線           | 5.7      |              |     |
| ・肺がん              | 5.6      |              |     |
| ・大腸がん             | 8.3      |              |     |
| ・乳がん              | 1.5      |              |     |
| ・子宮頸がん            | 2.3      |              |     |

## 【個別施策（がん検診精度管理の充実）】

### ①がん検診従事者の資質向上

質の高いがん検診を提供できるよう、がん検診従事者への研修会を継続して開催します。

#### 【主な取組】

- ・ 発見がん症例の追跡調査方法の検討、実施
- ・ 各がん従事者研修会の開催
- ・ 精度管理向上のための研修会の開催

### ②がん検診精度管理状況の把握及び評価

市町村・検診実施機関において適切な精度管理が実施できるよう、実態把握と指導を行います。

#### 【主な取組】

- ・ 市町村がん検診結果の把握及びプロセス指標<sup>\*11</sup>の評価
- ・ 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査結果の把握及び評価
- ・ 集団検診実施機関を対象とした精度管理調査の実施及び評価
- ・ 個別検診実施機関を対象とした精度管理調査方法の検討
- ・ 都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会（各がん検診部会）の活動状況調査の報告
- ・ 精密検査医療機関の登録要件の定期的な確認

プロセス指標<sup>\*11</sup> …それぞれの体制で行った検診の結果のことで、精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度などが代表的。